

初期支援コース「みらい」オンライン授業 ～指導の可能性の広がり～

1 概要および実施の状況

外国人生徒の支援方法のひとつとして、Teams を使ったJSLカリキュラム英語科の授業を行っています。在籍校を通じて希望した生徒が受講し、現在は「みらい西」で初期支援を修了した生徒や、国際教室で取り出し指導を受けている生徒が受講しています。

10月末現在、3校4名の生徒が受講しています。それぞれ週に1～2時間をオンライン授業で勉強しています。

オンライン授業開始	令和3年9月から		
受講生徒数と総時間数 (全学年の累計)	令和3年度(9月～3月)	5名	68時間
	令和3年度(5月～10月末)	5名	69時間
利用校(R3,R4)	南部中 中部中 東陵中 吉田方中 北部中		



2 指導について

(1) ワークシート

該当学年の英語教科書をもとに作成したワークシートを使用します。ターゲットセンテンスや新出語彙、本文理解など、教室で行う内容を学習します。日本語相談員の視点も取り入れて、日本語学習につながるものになっています。

英語表現の性質上、動詞の活用変化を伴うものを多く学習します。そのため、英語を通して日本語の動詞の活用も学ぶことができるなど、発展的な日本語学習になっています。

《ワークシート 中学校3年生 Unit6 Beyond Borders》

■□Section1□■ 仮定法 (かていほう) Subjunctive mood.			
I go to school. 学校へ行きます。		Subjunctive mood. I wish I could go to school. 学校へ行けたらいいのに。	
1 復習 動詞の変化を確認しよう I wish I could (),			
	-ます。	I wish I could ()。	
1.	buy.	かい。	ます。
2.	make.	つくり。	ます。
3.	read.	よみ。	ます。
4.	drink.	のみ。	ます。
5.	play.	あそび。	ます。
6.	swim.	およぎ。	ます。
7.	write.	かき。	ます。
8.	eat.	たべ。	ます。

〈動詞の変化 (仮定法)〉

「～たら」の形にするだけでなく、動詞を「可能形」にしてから、「～たら」の形にしなければなりません。

かいます → かえたら
つくります → つくれたら
よみます → よめたら

キーセンテンス導入後、毎回このような活用表で日本語を確認します。

2 1 動詞の変化を参考にして、英文を日本語にしよう。⑤は自分のことを書きましょう。

- ① I wish I could write more kanji. もっと () いいのに。
- ② I wish I could watch the movie. () いいのに。
- ③ I wish I could come earlier. もっと () いいのに。
- ④ I wish I could ()。

和訳 (部分訳) や自己表現も意図的に取り入れています。英語の理解だけでなく、文字を使い分けて書いたり、自分の言いたいことを日本語で表現したりするよい練習になります。

(2) 画面共有やチャットの利用(母語支援や双方向性の実現)

PowerPointのスライドやワークシートのWord画面をTeams上に画面共有し、板書代わりにしています。また、意味の確認や文法の説明で母語支援が必要になった時、Google翻訳で調べた母語訳をコピーし、Word画面上やチャット上に張り付けて提示しています。授業者がタイムリーな母語支援をすることが可能になりました。授業開始時に単語クイズやしりとりもチャット上で行います。ウオームアップしながら双方向の場づくりができていと感じています。



〈チャットの利用〉

- ・しりとりやクイズなどの双方向での活動
- ・正確な漢字やカタカナ表記を提示する
- ・スタンプやGIF動画などで励ます
- ・母語支援が必要な場面で母語訳を提示する

(3) 在籍校とのチームティーチングについて

T1(みらい西)の指示を伝えていただいたり、PC画面上では分からない生徒の取り組み状況を教えていただいたり、T2(在籍校の先生)に適時支援をしていただきながら円滑に進めることができます。

生徒は、近くでのサポートがあることで、集中力を保ってオンライン学習に取り組むことができます。そのため、質問も非常に多いです。

〈T2の主な役割〉

生徒のワークシート記入の様子の確認 / まる付け
生徒の声が不明瞭な時の補助 / インタビュー活動のペア
暗唱のチェック / 動画共有時の音量調整 / 接続確認 等

3 『初期支援コース「みらい」オンラインQ&A』(イントラネット内)



オンライン授業の詳細(位置づけ、オンライン授業の実際、オンライン授業の評価等)や見学、受講の申し込みの方法が記されています。イントラネットから閲覧可能です。ぜひご覧ください。

◆イントラネット◆

【外国人児童生徒教育資料】→【豊橋市の外国人児童生徒教育】→
→【初期支援コース「きぼう」「みらい」】→
→【初期支援コース「みらい」オンライン授業Q&A】



伊藤ノルリン相談員のフィリピン紹介



「メリークリスマス!」フィリピンは、クリスマスシーズンが最も長い国だと言われており、クリスマスの3か月前からこの挨拶を使い始めます。フィリピンのクリスマスの伝統行事はハロウィンと似ています。子どもたちが家を訪ね、クリスマスキャロルを歌い、コインをもらいます。

クリスマスパーティーは12月の第2週目に行われることが多いです。小学校、中学校でも開かれ、子どもたちは1日中パーティーを楽しみます。



パーティーではいろいろなゲームが行われ、

ゲームに勝った人には商品があります。また、参加者全員でフライドチキンやフィリピン料理のパンシット、ケーキやアイスクリームなどの食事を持ち寄ります。食事をしている間は歌やダンスがあり、とてもにぎやかです。

パーティーでの1番の楽しみはプレゼント交換です。パーティーの数週間前にくじ引きをして、パーティー当日に紙に書かれた名前の友達にプレゼントを渡します。

それまでは誰にプレゼントを渡すか教えません。用意するプレゼントはだいたい100ペソと決められており、文房具やTシャツを用意することが多いです。プレゼント交換で、誰からプレゼントをもらうか分かる時に1番盛り上がります。

クリスマスによく食べる物は「ケソデボラ」と呼ばれる直径20cmほどのボール状のチーズです。このチーズを薄く切ってクリスマス用のハムと一緒に食べます。

フィリピンの人たちはこのように過ごすクリスマスが大好きです。

